

第27回 山越薫さん（ランスタッド株式会社 EAP 総研）

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第27回目は、山越薫さん（ランスタッド株式会社 EAP 総研）にご執筆いただきました。

心理学のフィールドを可視化する

今の組織で働き始めたきっかけは上司の一言。『多岐にわたる心理学を研究した学生が心理学を通して社会貢献し、生活の糧を得られる場を開拓していきたい』。生理心理学研究室出身で、カウンセラーではない私がEAP（Employee Assistance Program）の業務に関わることができる。心理学を通して人に笑顔を生み出す手段と可能性を自分たちで拓いていく。その楽しさに魅せられ、10年目を迎えようとしています。

介入現場は企業を中心とした組織体。心の不調に限らず、不安全行動、品質意欲の低下、モチベーション低下など、人の心と行動にまつわる全てにおいて、その当人だけのケアでは一時しのぎ。関連する全体（チームや組織）への働きかけが不可欠です。この考え方は、私の学生時代の研究の視点と変わりません（不調部位に直接働きかけるのではなく、心身のバランス全体を捉えて関連部位に働きかけることが、不調部位の改善や不調予防になる可能性を研究）。

目下の課題は企業に納得してもらえる効果測定。組織の改善は数値に表れにくいからと逃げずに、結果にこだわる姿勢を見える化できるよう、日々頭をひねっています。

山越薫さん（Kaoru YAMAKOSHI）

【ご所属】 ランスタッド株式会社 EAP 総研 シニアコンサルタント

【ご連絡先】 yamakoshi@eapjp.com

【ホームページ】 <http://eap.randstad.co.jp/>

【その他】 心理学を通して楽しく社会貢献していくことに興味をお持ちの方は、気軽にご連絡いただけると嬉しいです。